



・発行者・
京都障害者
スポーツ振興会

ゆうあいボウリング大会に参加して

金メダルが自信となつて

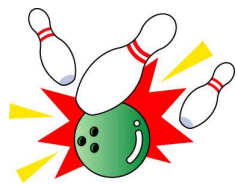
中村賀子

1月19日マスターズボウル新田辺で開催されたボウリング大会に息子が参加することになり、両親揃って観戦してきました。ゆうあいボウリング大会については、学校の案内で観戦です。当日の説明で毎年開催されているが、開催場所が北部・中部・南部と順番に開催されるので、南部で開催されるのは3年に一度だと分かりました。息子と同じ学校から7名。先生の引率で参加されていきました。息子はマイボウル持参なので親の送迎です。全員の応援をしたかったです。各レーンがカーテンで仕切られたボウリングスになっていたので、他のレーンが見えず残念でした。何度かボックスを出て他の生徒にも声をか

けに行くのと、どの子も真剣な顔で投げていて、ピンの倒れる本数に一喜一憂していました。大会は2ゲームの合計点勝負で、各レーン毎に1位が決定します。試合前の始球式で息子が指名された時は、親子でビツクリしました。緊張の中、第一投は9本でした。周囲から「惜しい」「オオ」の声が上がります。息子は益々やる気になり、「今度こそ、ストライクとるぞ」という意気込みで、力強く投げていました。でも、力んでしまつとコントロールが乱れるので、思うようにピンが倒れません。時々出るストライクやスペアーに「ヨッシャー」と嬉しい声を上げ、最後まで投げました。スコアは望んだ程には伸びず、ガツカり顔の息子でしたが、レ

ンでは1位となり、表彰式で金メダルを授与されて笑顔になりました。終了後、同じく金メダルを授与された同校の女子生徒とお互いの金メダルを見ながら、「今までもらった中で一番大きいなあ」「一番重いなあ」「次はもっとええ点出すぞ」「マイボールやし、ぼくの方がもっとええの出すわ」と、もう次回の話をしています。コミュニケーションの苦手な息子が、積極的に女の子と会話している姿を見て、「ああ、息子もちゃんと青春しているなあ」と嬉しくなりました。帰りはボウリング好きの親の誘いで、城陽ボウリング場でまたまた投げました。今度は180点、190点の高得点が出たので満足顔の息子でした。帰宅後、息子の部屋に入るとメダルが並べてあつて、数えると11個ありました。今回のメダルが一番大きく重かつたです。メダルは高等部になってからスポーツ大会に参加して獲得したものです。始めて参加したフライングディスク大会で獲得したメダルが励みとなり、毎回参加しています。特に苦手だった陸上

大会にも参加してメダルを獲得した時は大喜びでした。これらが自信となつて、今回のボウリング大会には、自分で参加を決めました。読み書きの苦手な息子が、申込用紙の氏名欄を記入し「あとわからんし書いといて」と言つて自分の意志を伝えてきたのです。学校は3月で卒業ですが、先生に「卒業後も大会にはできるだけ参加するつもり」と話していたそうです。今回の大会に参加して改めて思ったことは評価してもらおう。認めてもらうことが大事だということでした。それに大会では、メダルなどで確認できるものが用意されているので、言葉の苦手な息子には理解しやすくありがたいと思えました。息子にはもつと自信をつけて、自分の力を広げて行ってほしいと思つています。大会を開催して下さる各関係者の皆さん、スポーツを楽しめるようにご尽力下さり本当に有り難うございます。末永く続けて下さるようお願いいたします。



行事予定	2月	11(月・祝)	雪あそびのつどい	花背山の家	2013年春
		12(火)	丹波障害者のスポーツのつどい	丹波自然運動公園	
		16(土)	第24回全国車いす駅伝競走大会開会式等	グランドプリンスホテル京都	
		17(日)	第24回全国車いす駅伝競走大会競技・閉会式	京都市内駅伝コース	
			249回障害者水泳のつどい	伏見港公園プール	
	24(日)	城陽障害者スポーツのつどい	サン・アビリティーズ城陽		
	3月	3(日)	第30回視覚障害者京都マラソン大会	京都市西京極陸上競技場周辺	リニューアルオープン
6(水)		第18回京都ゆうあいフライングディスク大会	京都市障害者スポーツセンター		
京都障害者スポーツ振興会ホームページ TEL/FAX075-712-7010					
http://web.kyoto-inet.or.jp/people/spo-shin/ (2013年1月27日に一部更新)					

つどいスタッフ研修会
フライングディスクを
体験して

堀川和代

1月13日(日)、京都市
障害者スポーツセンター
でフライングディスクの
研修会が行われました。

私はもうずいぶん以前
に、京都府内でフライング
ディスクを普及していこ
うという目的で行われた
宮津市体育館での講習会
に参加して以来、久しぶり
の受講でしたので、ほぼ初
心者に近い状態でした。

まずは、軽く準備体操を
行つてから、フライングデ
ィスクで使用するディス
クの説明を受けました。競
技は主に2種類あり、距離
を競うディスクダンス、的を
狙つてディスクを投げる
アキュラシーがあること
を聞き、その後、ディス
クの持ち方や投げ方のコツ
などを実際体験しながら
教えて頂きました。

大会でしか関わりがな
かったフライングディス
ク競技専門部の部長をは
じめ、専門部員の方々の
交流もできました。いつも
はなかなか話す機会がな
い人たちと、フライングデ
ィスクを通してかかわら

せて頂き、楽しかったと同
時に大変刺激を受けまし
た。

その中で一番印象的だ
ったことは「基本は大事だ
けど、基本にこだわり過ぎ
ないで、自分に合った投げ
方をすればよい」と言われ
たことです。今までいろん
な場面で「基本を知った上
で、やり方は応用していけ
ばよい」と言われているこ
とだと思いますが、つどい
を運営している上でも同
じことが言えるなあと思
いました。障害のある人も
ない人も同じ場所ですポ
ーツを楽しもうというの
が、つどいの基本だと思
います。基本を理解した上
で、どう発展させていくの
かということが問われてい
るのだと、改めて感じまし
た。

ひとつとおり投げ方など
を教えて頂いた後、審判体
験や視覚障害者になつて
ゲームを楽しむ疑似体験、
介護体験などを行いました
た。アイマスクを使用して
視覚障害者の疑似体験を
おこなった時、日頃は気付
かなかつた些細なことも
怖く、歩く時の空間に対す
る感覚がマヒして、なか
な一歩が踏み出せません
でした。何とか投球位置に
立ちましたが、全く違う方

向に投げてしまい、最後ま
で方向感覚がつかめな
いまま終わってしまいま
した。いろんな情報をつか
むときには、視覚・聴覚も
フルに使って感じている
のだと思いますが、その
つだけでも欠けてしま
うとちまちま感覚が狂
ってしまうことを痛切に
感じました。

フライングディスク競
技大会では、男女別の区
分はあっても視覚障害者
の部という区分設定は
なく、的の位置を知ら
せざるため、の音源など
工夫するのみです。選
手はかなり練習して
試合に臨まれている
というのを改めて思
いました。同時に、
フライングディスクは
障害を越えて誰とでも
一緒に楽しめるスポ
ーツだということも改
めて感じることができ
ました。

障害別に区分を行う
だけでなく、ルールや
やり方を工夫すること
で誰でも一緒に
行うことが出来る
のではないしょうか。
障害者スポーツのつど
いは6月に再開しま
すが、それまでに、
つどいが大切に
してきた基本に沿
い、参加者と一緒に
どのよう楽しむ
か考えていきたい
です。

平成24年度
京都ゆうあい
ボウリング大会

日時 平成25年1月19日
会場 マスターズボウル
新田辺
(各レーン1位)

- 佐川直輝(城陽支援学校) 220点
- 高木敏之(志津川福祉の園) 217点
- 堀田健人(城陽支援学校) 271点
- 大橋昌弘(城陽支援学校) 199点
- 中村凜太郎(向日が丘支援学校) 210点
- 桑原慎也(城陽支援学校) 267点
- 小林洋祐(城陽市) 263点
- 野間厚志(城陽支援学校) 224点
- 佐野加奈(志津川福祉の園) 160点
- 高安優希(向日が丘支援学校) 208点

第24回全国車いす駅伝
参加チーム

- 8 茨城
- 11 埼玉
- 13 東京
- 17 長野
- 20 福井
- 21 静岡
- 22 愛知
- 23 三重
- 24 岐阜
- 26 京都
- 27 大阪
- 28 兵庫
- 33 岡山
- 39 高知
- 40 福岡
- 44 大分
- 45 宮崎
- 46 鹿児島
- 47 沖縄
- 52 仙台
- 55 横濱
- 61 京都
- 62 大阪
- 64 兵庫
- 71 愛知
- 72 大分
- 73 大阪
- 81 中国

